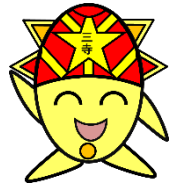




魅力ある学校づくり



概要版

墨田区立第三寺島小学校 校長 関口 亮治

東京都の目指す教育 東京都教育施策大綱

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

東京の目指す教育の実現に向け、基軸となる3つの「学び」

- ・子供の意欲を引き出す学び
- ・社会全体の力を生かした学び
- ・ICTの活用による学び

墨田区が目指す子供の将来像 墨田区教育施策大綱

(1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人

- ・感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
- ・自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
- ・スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人

(2) 郷土に誇りをもち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

令和7年度における主要な教育課題 墨田区教育委員会

- ◆誰一人取り残さず、全ての幼児・児童・生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現と確かな学力の定着
- ◆いじめ・不登校をはじめとした様々な課題への対策強化
(幼児・児童・生徒の安全性の確保、居場所づくり 等)

「子供が主役」になる魅力ある学校づくりを目指す

子供が主役になる学校

子供一人一人の「生きる力」を育むために、主体的に周囲と協働して課題を解決していく資質・能力を育成していく。また、子供たちが安心して過ごせる居場所としての学校にする。

地域に開かれ・根ざした学校

地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら、地域に親しみをもち、人との関わり合いを大切にできる子を育てる。互いに信頼関係を構築することで、この三寺小地域で暮らすことへの誇りをもてるようにする。

学校の教育目標

- じょうぶな体をつくる子→運動が好きになる 健康のため自己管理ができる 自他の生命を大切にする
- 進んで学ぶ子→分かる・できる・定着する・楽しい授業 「本物から学ぶ」体験的な授業 環境教育
- おたがいを大切にできる子→安心して過ごせる居場所 安心・安全の知識 思いやり、勇気を育む
- 人のために働ける子→他の幸せを自分の喜びにできる「利他」 仲間と共に助け合える

特別支援教育の充実ーインクルーシブ教育の構築ー

教職員の基本姿勢 チーム学校

- 保護者と共に児童の成長を喜び合う。明るさや温かさを根底にしながら、指導すべき点は明確に伝わり、身に付くよう温かく寄り添って指導する。(体罰・暴言はあってはならない。)
- 子供の思いを受け止め、良いことと悪いことを明確に教える。励まし続ける指導を進める。
- 特別支援教育への理解を深め、一人一人の良さを伸ばし、分かる・できる・考える喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研修・研鑽に努める。
- 保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。
- いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。(呼名・言葉遣い)
- 教師自身が児童の手本となる。率先垂範 凡事徹底 明るく優しく公平で知性的な教師

○じょうぶな体をつくる子

①運動が好きになる

- ・体育授業の充実（校内研修等による授業改善）。
- ・年間を通した計画的な体力づくり。
- ・長なわ跳び等、仲間とのチャレンジを楽しむ。
「共遊び」の推進。

②健康のため自己管理ができる

- ・望ましい基本的生活習慣の定着。
早寝・早起き（睡眠時間の確保）・朝ご飯・運動
家庭でのSNSルール・足育
- ・ソーシャルスキルトレーニング（社会性）。
- ・ストレスマネジメント（気分のコントロール）。

③自他の生命を大切にするー健康への意識

- ・食育推進 学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習。
- ・心と体、命を大切に学習。
発達の段階に応じたがん教育、認知症理解、
SOSの出し方に関する授業。

○おたがいを大切にできる子 安心・安全

①安心して過ごせる居場所としての役割

「いじめ・暴力を許さない」

「規範意識の醸成と実践」

授業を中心に教師と子供、子供相互のリレーションをつくる。

- ・いじめを生まない関係作り。
「言葉遣いは心遣い」
- ・アイチェックを活用した学級づくり。
意欲の向上・自己肯定感の向上を目指す。
児童のサインを見逃さない。
- ・学校生活・社会の約束を守る。自分たちで課題に
気付킬ールを守る。「三寺あいことば」

②安心・安全の知識

「自分の身は自分で守る。自助」

- ・SNS等の関わり方・メディアリテラシーの学習。
- ・不審者対応、薬物乱用防止等の学習、セーフティ
教室、交通安全教室、避難訓練（様々な想定場面での訓練）。
- ・安全指導日の指導の充実（安全教育プログラム）。

③思いやり、勇気を育む

- ・自己肯定感、子供の成長を支える指導、支援。
「生徒指導提要（改訂版）」（文部科学省）の
理解と活用
- ・どの子にも出番があり、主体性を引き出す達成感
のある行事。

○進んで学ぶ子 学力向上

①「分かる」、「できる」、「定着する」、「楽しい」 授業の展開

子供たちが主体的に生き生きと活動する授業を進めていく。

- ・楽しく、よく分かることによって基礎・基本が身に付き、学習意欲が高まり、課題解決能力も高まる。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を重ねる。
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。
多様な見方・考え方を大切にする。
根拠をもって対話や話し合いを重ねる。
- ・学び方を学ぶ。⇒調べ方、ノート指導、ICTの効果的な活用（一人1台端末を文房具として）。
- ・校内研究テーマ
「粘り強く学びに向かう児童の育成」

②「本物から学ぶ」体験的な授業

- ・地域がもつ「人・もの・こと」等の本物との出会いを大切にし、体験的な授業の充実を行う。
- ・外部や地域の講師と連携した取組の推進。

③環境教育の充実

- ・「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し、
SDGs・ESD・環境教育の充実を図る。
ビオトープ、校庭花壇の活用、緑のカーテン。

○人のために働ける子

①他の幸せを自分の喜びにできる「利他」

- ・当番活動・委員会活動「みんなのためになる、学校が楽しくなる工夫」。
- ・環境美化 清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろえる、傘立てをきれいにする等）。
言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を校風にまでしていく。

②仲間と共に助け合える

- ・困っている友達に、優しく接することができる。
- ・道徳教育・特別活動の充実。
よりよく生きるための実践につなげる道徳。

<幼保小中一貫教育の推進>

寺島中学校ブロック目標「主体的に学ぶ子供の育成」

11年間を見通した知・徳・体の育成

寺島中 第三吾儒小 第三寺島小 幼稚園・保育園

<併設の幼稚園との年間を通した

互恵性のある教育活動>

<特別支援教育の充実ーインクルーシブ教育の構築ー>

「めばえ」特別支援学級（自閉症・情緒障害） 「まなび」特別支援教室 拠点校

- ・包摂を目指した交流及び共同学習
- ・3校（三寺・八広・三吾）における特別支援教育の充実。
・学級で活きる指導の充実。「般化」「連携」
- ・ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り。
- ・教室掲示、ICTの活用で子供の特質を考慮する。

【チーム学校】 子供一人一人に多くの教員が関わる。教科担任制・交換授業 子供理解

開校97周年、開園57周年、新たな歴史を刻む 地域と共に子供を育てる三寺小 幼稚園と共に